

2009年 11月 30日発行

③ 幻

「どうして幻なんですか？」という質問をよくされます。『一生懸命』という幻の学級通信以外にも幻の庭球部通信とか、幻の理科通信とか、幻の歴史プリントとか、幻の英会話プリントとか、中学校時代には色々なものを発行していました。要するに、幻という言葉が好きだったのだと思います。その中で、最終的に毎日続いたのが学級通信でした。小さい頃から、何をやっても三日坊主だった僕が後半の11年間は毎日書いたのですから、学校というところはよほど楽しいところだったのでしょう。そして議員日記を5年以上毎日書いているのですから、議員としての毎日も意外に充実しているのかも知れません。この幻の議会報告『一生懸命』も50弾！まできました。読んでくださる方がいるから、書くことができました。笑顔で声をかけてくださる方たちがいるから、書き続けられました。これからも市議会で得られる情報を中心にお届けしたいと思っています。

③ 学級通信

当時は土曜日授業があったので、年間の授業日数は244日程度。ですから10年間で2440号は発行してきました。その原動力は子どもたち。毎日がドラマのようでした。泣いたり笑ったり怒ったり。当時の学級通信は子どもたちの名前が溢れていました。ゲツコツをくれたり黒板に手をつかせてお尻を竹刀で引っぱたいたり逆に僕が引っぱたかれて竹刀が折れるなどは日常茶飯事。理科の時間にお好み焼きを作って怒られたり子どもたちと一緒に職員室前に正座させられたりしました。夜プールで泳いで、クラスみんなで警察に怒られたりもしました。「金八」より面白い、脚本なしのドラマが当時の学校にはあったから書き続けられたのです。

③ 教育週間

埼玉県では、毎年11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としました。教育週間には、家庭、学校、地域社会の連携のもとに、教育に関する様々な取組を推進します。埼玉県のホームページを見ると、こうなっています。実際にお隣の朝霞第五中のように1日から7日は全ての授業を保護者や地域の方に公開している学校もあります。しかし、新座市内の小中学校は殆どが3日。しかも、その内の一日は合唱祭のような特別授業のことが多いのですから困りました。実質的には二日しかないのですから、地域の学校を見て回ることは不可能です。しかも、時間割等はホームページでも殆ど公開されていませんから、地域の人たちは目的を持って見学することもできません。僕は数年かけて、市内23校全てを回りましたが、今年のように小中学校が重なって同じ日の公開ということになると、見て回るのは本当に辛い。杉並の和田中学校のよういつでもどうぞ！と自信満々の公開ができるようになって欲しいものです。



右は五中テニス部キャプテンだった篠田安孝(38歳)。高校2年から県のチャンピオンになり、サンプラスとも戦いました。インターハイは勿論、国体、関東学生、インカレ、全日本選手権でも大活躍した選手です。最近、一緒にテニスをしています！！